

長野県伊那市新山

# とんぼの楽園

ハッチョウトンボ

トンボ科 ハッチョウトンボ属 ハッチョウトンボ

日本一小さい

赤い妖精

日本有数の「ハッチョウトンボ」の生息地



ヤゴ(実物大)



実物大  
2cm

## 名前の由来

江戸時代に矢田河原の八丁場(現・名古屋市東区)に生息していたところから、「ハッチョウトンボ」という名前がついた。

## 生息環境

本州、四国、九州のほぼ全域に分布するが、平地や低山地の水の枯れない、日当たりの良い湧水湿原のみに生息する。また行動範囲が限られることから、環境の変化を受けやすく生息地が激減している。

## 生態系

日本で最小のトンボで、ヤゴのまま越冬し、深夜から早朝にかけて羽化する。未成熟の時は雄、雌ともに薄い黄色をしているが、羽化後2週間程で成熟すると雄は赤色に、雌は黄色と黒色のしま模様になる。成虫は5月下旬から8月下旬までみられる。

## 指標昆虫

ハッチョウトンボは環境省が「良好な自然環境を知る目的」として選定した生物指標昆虫です。(全10種類)

二つのアルプスに抱かれた自然共生都市 伊那市

中央アルプス

南アルプス

